

令和7年度上尾市教育委員会紹介パネル

第3期上尾市教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）

夢を育み 未来を創る 上尾の教育

3つの基本方針

生きる力を育む 絆を育む 学ぶ喜びを育む



10の基本目標

- I 確かな学力の育成 II 豊かな心の育成 III 健やかな体の育成 IV 自立する力の育成
 V 多様なニーズに対応した教育の推進 VI 質の高い学校教育のための環境の充実 VII 家庭・地域の教育力の向上
 VIII 生涯にわたる学びの推進 IX 文化芸術の振興 X 健康で活気に満ちたスポーツ活動の推進

～ 目標を実現させるための6つの取組 ～

教育委員会 の取組

あげお学びのイノベーション

学校 の取組

- ・学校ICT支援員を全校に配置します
- ・全小中学校にAI型教材を整備します
- ・デジタルシティズンシップ研修を行います



- ・全ての学校でICT端末の持ち帰りを行います
- ・「デジタル地球儀」を活用した授業を行います
- ・児童生徒の情報活用能力を高めます

グローバル化に対応する教育



- ・全小中学校にALTを配置します
- ・オーストラリアに中学生を派遣します
- ・「イングリッシュサロン」や「イングリッシュパーティー」を開催します



- ・小中9年間を通して、英語授業を行います
- ・オンラインを活用し、海外の方と交流を進めます
- ・SDGsや多文化共生に関する取組を行います

いじめの防止、不登校児童生徒数の減少



- ・「上尾市いじめ防止子供サミット」や「夢を育み未来を創る子供すこやかシンポジウム」を開催します
- ・校内教育支援ルームに先生を配置します



- ・いじめを積極的に認知し、対応します
- ・いじめを許さない心を育てます
- ・児童生徒にとって安心できる居場所をつくります

小中一貫教育



- ・市内2つの中学校区でモデル事業を実施します（原市中学校区・南中学校区）
- ・研修用動画を活用し、教職員の理解を深めます



- ・各中学校区において、合同研修会を実施します
- ・各中学校区で、目指す児童生徒像を設定します
- ・小中一貫教育グランドデザインを作成します



地域と一体となった教育

- ・学校運営協議会委員のための研修を行います
- ・休日の部活動地域移行を進めます
- ・地域の人材を活用した、部活動の指導体制を強化します



- ・地域の施設や人材を活用した教育活動を行います
- ・中学校区での学校運営協議会の開催を進めます
- ・地域の人材と協力して部活動を行います

働き方改革



- ・校務支援システムを活用し、業務改善を行います
- ・週時数を削減する等、教育課程のスリム化を図ります
- ・教職員のサポート体制を強化します



- ・時間外在校時間等を縮減します
- ・休暇等を取りやすい職場環境をつくります
- ・教職員の心と体の健康管理を進めます



上尾市教育委員会 令和7年度

1 学校教育の指導の重点

(1) 上尾市教育指導基本方針

各学校は、上尾市教育振興基本計画及び自校の定める学校教育目標に基づき、児童生徒が身に付けるべき資質・能力を育成する。

①生涯にわたり学習の基盤となる基礎的な知識及び技能

ア 学びに必要な次の4つの力を育成する。

- ①自ら進んで学習する力 ②集中して学習する力
- ③協力して学習する力 ④継続して学習する力

イ 個別学習や補充学習、反転学習などを取り入れる。

ウ ICTを活用した学習を積極的に行う。

②課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等

ア 見通しと振り返りの活動を必ず取り入れる。

イ 協働学習や問題発見・問題解決的学習を積極的に取り入れる。

ウ 説明したり発表したりする活動を指導計画の中に必ず位置付ける。

③学びに向かう力、人間性等の涵養

ア 非認知能力（自制心や自己効力感、勤勉性など）を高める取組を行う。

イ 教科横断的な学習に積極的に取り組む。

ウ ほめる教育を推進し、わかった・できた喜びを称賛しあう雰囲気醸成する。

(2) 小・中学校で育てたい児童生徒像

①自己を律することができ、他人を思いやることのできる児童生徒

②自ら考え、様々な人と協働し、主体的に課題解決に取り組む児童生徒

③多様な考え方を認め、一人一人の多様な幸せの実現に努力する児童生徒

④基本的生活習慣を身に付け、社会の一員として責任ある行動がとれる児童生徒

⑤心身ともに健康でたくましい児童生徒

(3) 指導の重点

① 学校経営

ア カリキュラム・マネジメントの確立

各学校は、児童生徒の実態や地域の実情等を踏まえ、自校の学校教育目標を実現するため、教科等横断的な視点で、教育内容を組織的に配列した社会に開かれた教育課程を編成する。

イ 児童生徒の確かな学力の育成

変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続ける高い使命感を備えた教職員集団を育成するとともに、児童生徒一人一人の可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習活動の充実の方向性を改めて捉え直し、これまで培われていた工夫とともに、ＩＣＴの新たな可能性を指導に生かすことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を全市的に実施する。

② 学級経営

ア 学校の教育目標の達成を図る学級経営

児童生徒の実態や保護者の願いなどを踏まえた学級目標を設定し、学校の経営方針に基づいて学級経営を推進する。

イ 教職員間の協力と創意を生かした学級経営

教職員間の共通理解を図りながらガイダンスやカウンセリングを充実させ、一人一人の児童生徒の学校生活への適応や望ましい人間関係を形成する。

ウ 児童生徒が様々な活動に自主的・実践的に取り組む学級経営

児童生徒一人一人の多様性を認め、自己を素直に発揮でき、他者の失敗や短所にも寛容で、共感的な支持的風土を醸成する。

③ 学習指導

ア 生きて働く「知識及び技能」の習得

学習の系統性を踏まえ、小・中学校の連携を図りながら、基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着に努める。また、個別の事実的な知識のみでなく、習得した個別の知識を既存の知識と関連付けて深く理解し、社会の中で生きて働く知識となるものとなるようにする。

イ 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成

物事の中から問題を見だし、精査した情報を基に自分の考えを形成し、文章や発話によって表現したり、目的や場面、状況等に応じて互いの考えを適切に伝えたりするなどして、問題の解決を図る。そして、多様な考え方を理解しながら、児童生徒の思考力、判断力、表現力等を育成する。

ウ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

児童生徒や学校、地域の実態を踏まえて指導のねらいを適切に設定するとともに、

児童生徒一人一人がよりよい人生を切り拓いていくために、主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等を身に付けられるようにする。

④ 生徒指導

ア いじめを許さない気運の醸成

教師と児童生徒及び児童生徒相互の好ましい人間関係づくりに努めるとともに、誰もがいじめを許さない学年・学級づくりに努める。

イ いじめを見逃さない校内体制の構築

管理職のリーダーシップの下、自校のいじめ防止基本方針に則り、全教職員の 共通理解に基づいた校内指導体制を構築し、いじめ見逃し 0 を実現する。

ウ 児童生徒の自己有用感を高める取組の推進

児童生徒の発達段階と特性を十分考慮し、児童生徒自らが自己を高めることのできる活動を積極的に推進する。

⑤ 進路指導・キャリア教育

ア 個に応じたきめ細かい進路指導の充実

生徒一人一人の能力や適性、興味や関心及び進路指導に十分配慮し、生徒自らの意思と責任で進路を選択決定できるよう、キャリア教育の意義を踏まえた指導・支援に努める。

イ 児童生徒理解に基づくキャリア教育の推進

児童生徒が、自らの学習状況や進路キャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるようキャリア・パスポートを活用する。

⑥ 道德教育

ア 学校の教育活動全体を通じて行う道德教育

「特別の教科 道德」を要として、全教職員の参加と協力により、学校のすべての教育活動を通じて道德教育を推進する。

イ よりよく生きるための基盤となる道德性の育成

道德的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方(人間としての生き方)について考えを深める学習指導を充実する。

ウ 家庭・地域社会との連携

家庭や地域社会との共通理解を深め、授業の実施や地域教材の開発や活用などに、保護者や地域の人々の積極的な参加や協力を得るなど、相互の連携を図る。

⑦ 学校教育相談

ア 全ての教育活動を通じて行う学校教育相談

教育計画全体の中に学校教育相談を位置付け、効果的に進めるために、各児童生徒の情報を的確に把握し、学校教育相談の具体的な実施計画を作成し、組織的に対応する。

イ 校内の相談体制づくりと関係機関との連携

教育相談主任を中心に、教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が、連携・協働する体制の充実に努める。また、各学校は学校と関係相談機関の果たす役割を明確にし、相互に協力しながら児童生徒の支援に当たる。

ウ 不登校対策の充実

全校に不登校対策委員会を設置し、不登校対策についての会議等を経営的に行うとともに、不登校対策コーディネーター等を中心として、未然防止・早期発見・早期支援などを組織的かつ機動的、計画的に進める。

⑧ 体育

ア 学習指導のさらなる改善と運動に親しむ取組のさらなる工夫

学校の教育活動全体を通じて、意図的な運動の機会を捻出、設定し、休み時間等の日常的な運動の機会を確保し、運動好きな児童生徒を育てる。

イ 継続的に取り組む体育的活動時の事故防止及び学習規律の確立

体育施設や用具等の日常的・定期的な安全点検とそれに伴う事後処理を確実に行うとともに、適度な緊張感のある、よい雰囲気の中で、効率よく集中して学習に取り組めるように、「学びに向かう力、人間性等」の安全の内容について、継続的に指導・評価する。

ウ 新たな形態による授業づくりの推進

民間スイミングスクールを活用した水泳授業のモデル事業を拡大し、その効果を検証し、本市の実態に即した今後の水泳授業の在り方等を構築する。

⑨ 健康教育

ア すべての教職員で健康教育を推進できるような組織体制の整備

学校保健計画をもとに、教職員の共通理解を図り学校の教育活動全体で、健康に関する知識を身に付け、必要な情報を収集し適切な意思決定行動選択のできる資質・能力の育成に努める。

イ 9年間を見通した食に関する指導の充実

給食の時間を中心としながら、各教科における指導を相互に関連させながら食に関する指導に取り組み、学校や地域の実態に即した食に関する課題の解決に努める。

⑩ 人権教育

ア 学校教育活動全体を通じた人権教育の推進

学校・地域の実態や児童生徒の発達段階に応じて、全体計画・年間指導計画を作成し、家庭や地域社会と連携し、同和問題をはじめ、性の多様性に関する人権課題、インターネットによる人権侵害など、様々な人権課題について正しく理解し、人権感覚を身に付け、人権課題を解決しようとする児童生徒の育成に努める。

⑪ 特別支援教育

ア 発達障害を含む障害のある児童生徒への適切な指導の充実

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた、「個別の教育支援計画（Aプラン）」「個別の指導計画（Bプラン）」等を作成し、家庭や関係機関と十分に連携を図り、個に応じた指導を充実させる。

また、児童生徒の実態に応じて、通級による指導や特別支援学級の弾力的な運用等を進める。

イ 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への指導の充実

特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の整備と充実を図り、学校がチームとなって児童生徒一人一人の特性に応じたインクルーシブな支援を計画的に行う。

ウ 特別支援学校教諭免許状の取得促進等による教員の専門性の向上を図る。

特別支援学校教諭免許状取得のための認定講習への参加を積極的に促すことにより、教員の特別支援教育についての専門性の向上に努める。

⑫ 国際理解教育

ア 上尾市英語力向上プランに基づく英語教育の充実

国や文化の異なる人々と主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、児童生徒の発達段階に応じて、外国語指導助手（ALT）や地域の外国人等との外国語を用いたふれあいや対話の機会を充実し、小中学校9年間を見通した英語教育を実施する。

イ 異文化理解、多文化共生の視点に立つ教育の推進

ALTや地域の外国人の方と交流する機会を増やし、他国の人々と主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努める。

⑬ 情報教育

- ア ICT端末を効果的に活用した授業等における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に関する研究の推進

授業における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に資する研究を一層推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。

- イ 「学校外（特に家庭学習）」におけるICT端末の活用促進

日常的なICT端末の持ち帰り（アカウントの活用を含む）体制を構築し、学校外（特に家庭学習）におけるICT端末の活用を推進する。

- ウ デジタル・シティズンシップ教育の充実・効果的な取組の促進

従来の「情報モラル教育」からの脱却をさらに進め、「デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力」を身に付けることを目的とした「デジタル・シティズンシップ教育」への転換を一層推進する。

- エ 生成AIの適切な利活用の推進

生成AIの適切な利活用の推進に資する調査研究を行う。

⑭ 環境教育

- ア 持続可能な社会の実現のため、環境を守ろうとする心と態度の育成

持続可能な社会を作り上げるために、ESD（持続可能な開発のための教育）の視を取り入れ、環境の保全に向けて、児童生徒が主体的に行動できる実践的な態度や資質・能力の育成を図る。

- イ 教職員の共通理解に基づいた環境教育推進体制の確立文部科学省や県教育委員会発行の指導資料を活用した研修を計画的に実施し、学校の教育活動全体を通して取り組む。

- ウ 各教科等の連携を図った全体計画・年間指導計画の作成と指導方法の工夫

各教科、総合的な学習の時間、特別活動等との連携を図った指導計画を作成し、体験的な活動を取り入れるなど児童生徒が主体的に学習できるよう、指導方法の工夫・改善に努める。

⑮ ボランティア・福祉教育

- ア ボランティア・福祉教育の充実

地域や学校の実態に応じて、指導方法及び指導内容を創意工夫する。また、各教科等において、ボランティア・福祉教育に係る体験活動を実施する際は、そのねらいを明確にし、教育効果を高めるようにする。

- イ 関係団体との連携

社会福祉協議会等の関係団体の理解・協力を得ながらボランティア・福祉教育を推進する。

⑯ 男女平等教育

ア 男女共同参画社会の実現を目指す教育の推進

児童生徒一人一人が個性や能力を発揮して自らの意志によって行動できるよう、男女平等教育の全体計画・年間指導計画を作成し、家庭や地域の人々の理解と協力を得ながら、学校教育全体を通じて男女平等意識を高める教育を推進する。

⑰ 学校図書館教育

ア 学校図書館を活用した授業の充実

各教科等の授業において、学校図書館としての役割を十分に機能させるように努める。

イ 学校図書館の充実

司書教諭、学校図書館支援員を中心に、全教職員の共通理解、協力体制を確立し、学校図書館が児童生徒に積極的に利用されるような取組を推進する。

ウ 計画的な読書活動の推進

計画的な読書指導を推進し、児童生徒の読書に親しむ態度を育成し、読書の習慣を身に付けさせる。

⑱ 交流及び共同学習

ア 共生社会の形成を目指した教育の推進

障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が、共に学び、互いに触れ合うことを通して、同じ仲間として共生社会を形成する一員であるという意識を育む。

イ 全体計画に位置付けた計画的、継続的な実施

支援籍学習等の交流及び共同学習は、地域や学校、児童生徒の実態に即して活動の種類や時期、実施方法等を適切に定め、単に交流する機会を確保するだけでなく、共に学び合い、全ての児童生徒に成果が期待できる共同学習の側面をより重視する。

2 魅力ある学校づくり

(1) 令和7年度 学校課題研究一覧

【小学校】

※網掛け は令和7年度発表校

No	学 校 名	研究領域	研究主題または内容	研究委嘱 等機関	委嘱 期間	発表
1	上尾小学校	学習指導	児童の「自ら学習を進める力＝自走力」を高める授業づくり ～多様な学びに応じた授業の研究～	なし	なし	なし
2	中央小学校	学習指導 (国語科)	自分の思いや考えを広げ、主体的に学び合う児童の育成 ～「伝え合う力」を育む指導方法の工夫～	なし	なし	なし

No	学 校 名	研究領域	研究主題または内容	研究委嘱 等機関	委嘱 期間	発表
3	大谷小学校	小中一貫教育 学習指導	自ら考え、主体的に取り組む児童生徒の育成 ～「学力向上」のために各校の実態に即した 学習指導を通して～	市教委	R7・R8	なし
4	平方小学校	体力向上	体力向上に向けた教育の推進 ～体育科の授業の工夫改善を行い、自己有用 感を高め、生涯にわたり運動に親しみ心身の 健康の保持増進に取り組むことができる児童 の育成～	市教委	R6・R7	誌面発表
5	大石小学校	特別活動	心豊かに 自ら学び とともに響き合う 大石 の教育 ～特別活動を軸とした主体的な児童の育成～	なし	なし	なし
6	原市小学校	小中一貫教育	主体的にねばり強く何事にも取り組む児童・ 生徒の育成 ～つながりを大切にした小中一貫教育～	市教委	R7・R8	なし
7	上平小学校	学習指導 (国語科)	生き生きと活動する子供たちを目指して ～国語教育を通して自分の言葉で自分の思い を伝えられる児童の育成～	市教委	R6・R7	1 月 27 日
8	富士見小学校	学習指導	心豊かで 努力し 他人の良さも認められる 児童の育成 ～発問の工夫による対話を重視した授業の展 開～	なし	なし	なし
9	尾山台小学校	特別支援教育	自ら学び、考え、共に高め合う児童の育成	なし	なし	なし
10	東小学校	学習指導	教師も児童も学び合い笑顔かがやく東小	なし	なし	なし
11	大石南小学校	学習指導 (国語科)	主体的に学び、自らの考えや思いを適切に表 現することができる児童の育成 ～読むことを愉しませる発問の追究～	なし	なし	なし
12	平方東小学校	学習指導	『自分の思いを生き生きと表現できる多様な 児童の育成』 ～I C Tを活用した表現の工夫と、安心して 発言できる教育環境づくりを通して～	なし	なし	なし
13	原市南小学校	小中一貫教育	主体的にねばり強く何事にも取り組む児童・ 生徒の育成 ～つながりを大切にした小中一貫教育～	市教委	R7・R8	なし
14	鴨川小学校	小中一貫教育 学習指導 (国語科・算数 科)	自ら考え、主体的に取り組む児童生徒の育成 ～「学力向上」のために各校の実態に即した 学習指導を通して～	市教委	R7・R8	なし

No	学 校 名	研究領域	研究主題または内容	研究委嘱 等機関	委嘱 期間	発表
15	芝川小学校	総合的な学習の時間	自分自身で考え、伝え、主体的に学ぶ児童の育成	なし	なし	なし
16	瓦葺小学校	学習指導	思いや考えを進んで伝え合い、手を取り合い学びを深める児童の育成 ～多様な意見を送受「心」し、多面的に学習する葺っ子～	なし	なし	なし
17	今泉小学校	総合的な学習の時間	持続可能な未来をつくるSDG s 教育の実践 ～2030年への挑戦 自ら考え、主体的に行動を起こす今っ子の育成～	県教委 市教委	R6・R7	11月19日
18	西小学校	学習指導 (外国語科・外国語活動・英語活動)	英語でも、楽しく意欲的に伝え合う西小っ子の育成	市教委	R6・R7	1月27日
19	東町小学校	学習指導	主体的に課題に取り組み、表現力豊かに伝え合う児童の育成	なし	なし	なし
20	平方北小学校	学習指導	目を輝かせて主体的に学ぶ児童の育成 ～非認知能力を高める指導を通して～	市教委	R6・R7	11月27日
21	大石北小学校	生徒指導	自己肯定感を高める学習指導の工夫 ～個別最適な学びと協働的な学びのベストミックス～	市教委	R6・R7	10月30日
22	上平北小学校	生徒指導	夢を語り 未来を拓く 小中一貫教育 ～児童の自己肯定感を高めるPBSの実践～	なし	なし	なし

【中学校】

No	学 校 名	研究領域	研究主題または内容	研究委嘱 等機関	委嘱 期間	発表日
1	上尾中学校	学習指導	主体的・対話的で深い学びを推進し、生徒の未来につながる力の育成 ～ICT 端末の効果的な活用と地域連携を軸とした教育活動の構築～	市教委	R6・R7	11月27日
2	太平中学校	道徳教育	発達段階に応じた「知る」「深める」「内省する」9年間の道徳教育 ～きまりの意義を理解し、自らを律することのできる児童生徒の育成を目指して～	なし	なし	なし
3	大石中学校	特別活動	人間関係をよりよく形成するための協働的な学びの充実 ～大石中学校区一貫教育を通して～	なし	なし	なし

No	学 校 名	研究領域	研究主題または内容	研究委嘱 等機関	委嘱 期間	発表日
4	原市中学校	小中一貫教育	主体的にねばり強く何事にも取り組む児童・生徒の育成 ～つながりを大切にした小中一貫教育～	市教委	R7・R8	なし
5	上平中学校	小中一貫教育	夢を語り未来を拓く小中一貫教育 ～自ら考え主体的に学ぶ生徒の育成を通して～	なし	なし	なし
6	西中学校	総合的な 学習の時間	未来に夢をもち、持続可能な社会をつくる 生徒の育成 ～ESD の資質能力の育成に向けた中学校カリキュラムの充実～	県教委 市教委	R6・R7	11 月 28 日
7	東中学校	学習指導	新しい時代を生きる力の育成 ～学ぶ喜びを感じよう～	なし	なし	なし
8	東中 向原分校	学習指導	児童生徒の自己肯定感を育むための個別 最適な学びの実現 ～児童自立支援施設内学校の特色を生かして～	なし	なし	なし
9	大石南中学校	学習指導	生徒の探究力を伸ばす教育活動の工夫 ～小規模校の特性を生かした個別最適な学びと協働的な学び～	市教委	R6・R7	11 月 19 日
10	瓦葺中学校	学習指導	「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業改善	なし	なし	なし
11	南中学校	小中一貫教育 情報教育	自ら考え、主体的に取り組む児童生徒の育成 ～「学力向上」のために各校の実態に即した学習指導を通して～	市教委	R7・R8	なし
12	大谷中学校	小中一貫教育	自ら考え、主体的に取り組む児童生徒の育成 ～「学力向上」のために各校の実態に即した学習状況を通して～	なし	なし	なし

(2) 令和6年度委嘱研究発表



大石小学校

学習指導【算数科】（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 わかった、できたを実感し、自信を育てる算数科の授業づくり
～ 個別最適な学びと協働的な学びの実現を通して ～



尾山台小学校

特別支援教育（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 自ら学び、考え、共に高め合う児童の育成



東小学校

学習指導【外国語科・外国語活動・英語活動】（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 言語活動の充実を図り、楽しく伝え合う外国語授業の研究
～ 英語で自分の思いを伝え、進んでコミュニケーションを図る児童の育成 ～



平方東小学校

学習指導【外国語科・外国語活動・英語活動】（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 外国語に慣れ親しみ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成



原市南小学校

学習指導【図画工作科】（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 「思い」を生かして、生き生きと表現する児童の育成
～自己肯定感を高める活動を基盤として、児童の主体性を伸ばす授業の実践～



芝川小学校

特別支援教育（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 自信をもち、きらりと輝く児童の育成
～ 自己肯定感・自己有用感を高める指導方法の工夫 ～



上平北小学校

学習指導【国語科】（上尾市教育委員会委嘱）

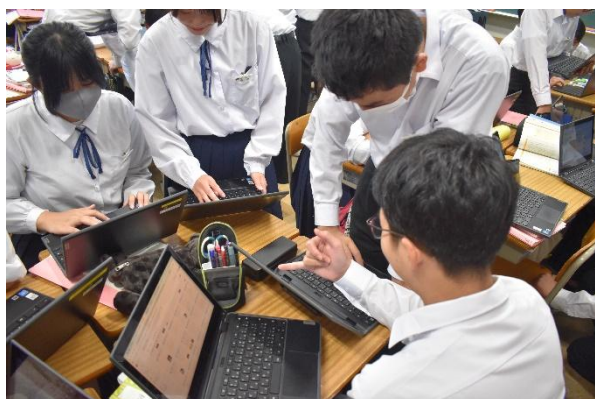
研究主題 自らの考えをもち、互いに伝え合う児童の育成
～ 「学力・意欲の相乗効果」を実現する授業改善 ～



大石中学校

学習指導（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 生徒一人一人のよい点や可能性を生かし、
異なる考え方を組み合わせたよりよい学びを実現する授業改善
～ ICTを活用した表現する機会を通して ～



上平中学校

学習指導（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法の工夫
～ ICTとその他の教材を効果的に組み合わせて ～



東中学校

学習指導（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 新しい時代を生きる力の育成
～ 主体的・対話的で深い学びを通して ～



大谷中学校

道徳教育（上尾市教育委員会委嘱）

研究主題 道徳教育を通じて相互に理解し合い、よりよく生きようとする生徒の育成
～ 問題解決的な授業と体験的な授業を通して真・心（しん）の対話を目指す ～



いじめ根絶に向けた取組について

① いじめの防止等のための基本的な方針

上尾市では、平成26年2月に「上尾市いじめの防止等のための基本的な方針」*を策定いたしました。上尾市教育委員会では、「いじめは決して許されないこと」であり、また、「いじめは、どの学校でも、どの子供にも起こりうるものである」との認識に立ち、「いじめの根絶」及び「いじめの早期解消」に取り組んでまいりました。（*平成30年3月、令和5年11月に一部改定）

「いじめの根絶」及び「いじめの早期解消」には、子供の実態を日常的に把握し、学校、家庭、地域社会や関係機関が連携して「いじめの根絶」に取り組むとともに、子供たち自らが「いじめをしない、させない、許さない」強い意志をもつことが大切です。そのためには、各教職員が「いじめは人として絶対に許されない行為であり、いじめられて苦しんでいる子供たちを全力で守る」という強い意志を持ち、児童生徒の指導にあたることが何よりも重要です。

上尾市教育委員会では、すべての子供が、なかよく楽しい学校生活を送ることができるよう「いじめのない学校」を実現するため、学校との連携を一層深め、いじめ根絶に取り組んでまいります。

② いじめ根絶に向けた上尾市の取組

年 月	内 容
平成18年11月	いじめ根絶を訴える緊急アピール （教育長、PTA 連合会長、小学校長会長、中学校長会長）
11月	教師用指導資料「いじめのない学校を目指して」作成
平成19年8月	「いじめをなくす宣言」 第17回子ども議会で採択
平成22年	教師用指導資料「いじめのない学校を目指して」改訂
平成24年8月	上尾市いじめ根絶対策会議を開催 （全小・中学校の校長と生徒指導主任が参加） ○児童・生徒及び保護者を対象とする統一したアンケート調査の実施 ○教師用チェックリストの作成 ○各家庭向けの保護者用チェックリストの配布
8月	教師用指導資料「いじめのない学校を目指して」改訂
11月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語募集
平成25年4月	「子ども・いじめホットライン」、「子ども・いじめホットメール」開設
6月	楽しい学校生活を送るためのアンケート「Q-U」調査の実施 （小学校3年生以上の全児童生徒が実施）
7～8月	CAP研修会を全小・中学校で実施 ○教職員の実践的指導力の向上を図る
8～12月	上尾市「いじめ根絶」中学生サミット ○上尾市「いじめ根絶」中学生宣言
11月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語募集
平成26年2月	「上尾市いじめの防止等のための基本的な方針」策定
3月	学校いじめ防止基本方針を各小・中学校で策定
6～7月	CAP研修会（新任教諭、他市からの転任教諭を対象）
6月	楽しい学校生活を送るためのアンケート「hyper-QU」調査の実施 （小学校3年生以上の全児童生徒が実施）

7 月	「夢・感動教育 子供すこやかシンポジウム」開催 ○ネットトラブル防止に関する基調講演及びパネルディスカッション
10 月	「第1回上尾市ネットトラブル防止対策会議」開催 ○ネットトラブル防止に関する情報交換並びに対策の方向性・行動指針について検討
12 月	「第2回上尾市ネットトラブル防止対策会議」開催 ○保護者に向けたネットトラブル防止に係る啓発活動の方法を検討
平成 27 年 4 月	「上尾市ネットトラブル防止宣言」ポスター・リーフレットの配布
4 月～	上尾市立中学校非公式サイト監視調査開始
5 月	「上尾市スマホ・ケータイ安心ネット会議」準備委員会開催 ○小・中学生に向けたネットトラブル防止に啓発活動の方法を検討
6～7 月	CAP 研修会（新任教諭、他市からの転入教諭を対象）
6 月	楽しい学校生活を送るためのアンケート「hyper-QU」調査の実施 （小学校3年生以上の全児童生徒が実施）
7 月	「夢・感動教育 子供すこやかシンポジウム」開催 ○スマホ・ケータイの正しい使い方に関する基調講演及び保護者と教諭によるパネルディスカッション
5～11 月	「上尾市スマホ・ケータイ安心ネット会議」開催 ○ネットトラブル防止の被害者・加害者にならないために、自分自身のルールやマナー等「行動宣言」を策定し、地域の集いで報告
平成 28 年 3 月	「上尾市中学校区スマホケータイつかい方行動宣言」リーフレットの配布
6～7 月	CAP 研修会（新任教諭、他市からの転入教諭を対象）
6 月	楽しい学校生活を送るためのアンケート「hyper-QU」調査の実施 （小学校3年生以上の全児童生徒が実施）
7 月	「夢・感動教育 子供すこやかシンポジウム」開催 パネルディスカッション ○各中学校区の「スマホ・ケータイ行動宣言」に対する児童生徒の意識の状況及び今後の具体的な指導について ○さらに進化していくネット社会に向けての問題提起、脱・スマホ依存について
11 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語募集
平成 29 年 2 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語ポスター （各小・中学校、公共施設等に 300 枚配布）
3 月	上尾市ネットトラブル防止宣言「ネット社会子供を守る大人の目」マグネットの配布リーフレットの配布（1回目）
6～7 月	CAP 研修会（新任教諭、臨時的任用教諭、他市からの転入教諭を対象）
6 月	楽しい学校生活を送るためのアンケート「hyper-QU」調査の実施 （小学校3年生以上の全児童生徒が実施）
7 月	「夢・感動教育 子供すこやかシンポジウム」開催 ○講演「いじめのない学校生活の実現を目指して」丸山 綱男 氏 ○グループ協議「いじめのない学校生活の実現のために、地域・学校が連携してできる具体的な方策」
8 月	上尾市「いじめ根絶」小学生サミット開催 ○上尾市「いじめ根絶」小学生の誓い
11 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語募集
平成 30 年 2 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語ポスター （各小・中学校、公共施設等に 300 枚配布）
3 月	上尾市ネットトラブル防止宣言「ネット社会子供を守る大人の目」マグネットの配布リーフレットの配布（2回目）
6～7 月	CAP 研修会（新任教諭、臨時的任用教諭、他市からの転入教諭を対象）

平成 31 年	6 月	楽しい学校生活を送るためのアンケート「hyper-QU」調査の実施 (小学校3年生以上の全児童生徒が実施)
	7 月	「夢・感動教育 子供すこやかシンポジウム」開催 ○講演「楽しいコミュニケーションを考えよう～子どものネットトラブルを防ぐための3つの対策～」LINE 株式会社 柴田 保文氏 ○グループ協議「ネットいじめ、SNS いじめから子供を守るためには～地域・家庭・学校が連携してできる具体的な方策～」
	11 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語募集
	12 月	上尾市「いじめ根絶」小学生サミット開催
	2 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語ポスター (各小・中学校、公共施設等に 300 枚配布) 「いじめを考える授業」研究協議会(市内小・中学校生徒指導主任対象) ○富士見小学校で1回開催
令和元年	3 月	上尾市ネットトラブル防止宣言「ネット社会子供を守る大人の目」付箋配布
	6～7 月	CAP 研修会(新任教諭、臨時的任用教諭、他市からの転任教諭を対象)
	7 月	楽しい学校生活を送るためのアンケート「hyper-QU」調査の実施 (小学校3年生以上の全児童生徒が実施) 「夢・感動教育 子供すこやかシンポジウム」開催 ○講演「「いじめ根絶」に向けた自己有用感を育む教育」 東松山市立総合教育センター副所長 城西国際大学兼任講師 稲垣 孝章 氏
令和 2 年	11 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語募集
	12 月	上尾市「いじめ根絶」小学生サミット開催
	2 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語ポスター (各小・中学校、公共施設等に 300 枚配布) 「いじめを考える授業」研究協議会(市内小・中学校生徒指導主任対象) ○東中学校で1回開催
	3 月	上尾市ネットトラブル防止宣言「ネット社会子供を守る大人の目」付箋配布
	7 月	楽しい学校生活を送るためのアンケート「hyper-QU」調査の実施 (小学校3年生以上の全児童生徒が実施)
令和 3 年	9 月	上尾市ネットトラブル防止宣言「ネット社会子供を守る大人の目」定規配布
	11 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語募集
	12 月	CAP 研修会(新任教諭、臨時的任用教諭、他市からの転任教諭を対象)
	2 月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語ポスター (各小・中学校、公共施設等に 300 枚配布) 「いじめを考える授業」研究協議会中止(市内小・中学校生徒指導主任対象)(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	6 月	「i-check」の実施 (小学校3年生以上の全児童生徒が実施)
	7 月	CAP 研修会(新任教諭、臨時的任用教諭、他市からの転任教諭を対象) 「夢を育み 未来を創る 子供すこやかシンポジウム」開催(オンライン) ○講演「サイバーセキュリティ講演」 埼玉県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課
	9 月	上尾市ネットトラブル防止宣言「ネット社会子供を守る大人の目」定規配布
	11 月	CAP 研修会(新任教諭、臨時的任用教諭、他市からの転任教諭を対象)

令和4年2月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語募集 「いじめを考える授業」授業研究会 (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、YouTube 配信による提案授業と Google Meet による研究協議) ○富士見小学校で実施
	なかよく楽しい学校生活を送るための標語ポスター配布 (各小・中学校、公共施設等に 300 枚配布)
	6月 楽しい学校生活を送るためのアンケート「hyper-QU」調査の実施 (小学校3年生以上の全児童生徒が実施)
	7月 CAP 研修会(新任教諭、臨時的任用教諭、他市からの転入教諭を対象)
	8月 「夢を育み 未来を創る 子供すこやかシンポジウム」開催(オンライン) ○講演「支え合い、学び合い、高まり合うピア・サポートの構築」 聖学院大学 心理福祉学部 心理福祉学科 相川 章子 教授
令和5年1月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語募集 「いじめを考える 授業」授業研究会 ○南中学校で実施
	3月 なかよく楽しい学校生活を送るための標語ポスター配布 (各小・中学校、公共施設等に 300 枚配布)
	6月 よりよい学校生活と友達づくりのための心理検査「hyper-QU」調査の実施 (小学校3年生以上の全児童生徒が実施)
	7月 CAP 研修会(新任教諭、臨時的任用教諭、他市からの転入教諭を対象)
	8月 夢を育み未来を創る 子供すこやかシンポジウム(オンライン開催) ○パネルディスカッション講師及びコーディネーター アディッシュ株式会社 小川 景子 氏 演題「先生方・保護者と考える！ネットいじめ・ネットトラブル対策」 上尾市いじめ重大事態対応マニュアル作成
令和6年11月	なかよく楽しい学校生活を送るための標語ポスター配布 (各小・中学校、公共施設等に 300 枚配布) 「いじめを考える授業」授業研究会 ○富士見小学校で実施
	12月 上尾市いじめ防止子供サミット開催
	令和6年6月 よりよい学校生活と友達づくりのための心理検査「hyper-QU」調査の実施 (小学校3年生以上の全児童生徒が実施)
	7月 CAP 研修会(新任教諭、臨時的任用教諭、他市からの転入教諭を対象) 夢を育み未来を創る 子供すこやかシンポジウム(オンライン開催) ○パネルディスカッション テーマ 「いじめを防ぐために、私たちにできること」 パネラー 代表児童生徒(小・中・高) PTA 連合会 子ども会育成連合会 代表教諭
	10月 「いじめを考える授業」授業研究会 ○原市中学校で実施
令和7年12月	上尾市いじめ防止子供サミット開催
	令和7年1月 なかよく楽しい学校生活を送るための標語ポスター配布 (各小・中学校、公共施設等に 300 枚配布)
	2月 上尾市いじめ重大事態対応マニュアル改訂
	7月 夢を育み未来を創る 子供すこやかシンポジウム(オンライン開催) ○パネルディスカッション テーマ 「なぜ、いじめは起きてしまうのだろうか」 パネラー 代表児童生徒(小・中・高) PTA 連合会 上尾・伊奈地区保護司会 代表教諭

③ 上尾市「いじめ根絶」小学生サミット

上尾市「いじめ根絶」小学生サミット

あげおし

こんぜつ

ちか

上尾市「いじめ根絶」小学生の誓い

わたし 私たちは、いじめをなくし、みんながなかよく楽しい学校をつくり
ます。あげおし ぜんしょうがっこう ぜんじどう 上尾市の全小学校・全児童は、ここに「いじめ根絶」の学校をつ
くることを誓います。

あいて

き も

おも

相手の気持ちを思いやります

いじめられているかどうかは、あいて き 相手が決めることです。あいて かんが 相手のことを考え、
おも こころ 思いやりの心をもって、みんなにやさしく、みんなとなかよくします。

と

ゆう き

いじめを止める勇気をもちます

いじめでこま 困っていたり、なや 悩んでいたたりする人をすす たす 進んで助けます。いっぽ ふ
出すゆう き 勇気をもって、なかま たす あ 仲間と助け合い、こえ あ と 声をかけ合っていじめを止めます。

こま

まわ

そうだん

困ったら周りの人に相談します

いじめはひとり だけではかいけつ 解決できません。困ったら、ともだち せんせい 家族など
まわ ひと はな 周りの人に話します。いじめをぜったい 絶対にゆる 許さない雰囲気をつくりま

平成29年8月25日

④ 上尾市「いじめ根絶」中学生宣言

上尾市「いじめ根絶」中学生サミット

上尾市「いじめ根絶」中学生宣言

私たちは、強い意志をもっていじめをなくし、互いに支え合い、「笑顔いっぱい さわやかなあいさつ」のあふれる楽しい学校をつくります。
上尾市の全中学校・全生徒は、ここに「いじめのない学校をつくる」ことを宣言します。

**人をきずつける言動は
絶対にしません**

私たちは、いじめを絶対にしません。相手が嫌がることはせず、相手の気持ちを考え、正しい行動を取ります。

**やさしさと勇気を持ち
まも
仲間の笑顔を護ります**

私たちは、友達を信頼し、やさしさをもって接します。見て見ぬふりをせず、自らの意志を伝える勇気を持ち、仲間と助け合います。

**一人一人の人権を尊重し
思いやりの心をもって生活します**

私たちは、友達や先生方、地域の方々とのふれあいを大切にします。一人一人の個性を互いに認め、支え合います。

平成25年12月7日

3 教職員の資質の向上

(1) 指導方法に関する研修

実施時期	研修会名	研修内容	対象
4 月	特別支援学級担任等研修会	指導方法の工夫・改善を図る	小・中特別支援学級 新担任等
4 月	魅力ある学校づくり研修会 (オンデマンド型研修)	学校研究推進に係る研修	小・中教頭
4・5 月	司書教諭等研修会	学校図書館運営の充実を図る	小・中司書教諭 小・中図書館教育主任
4月から6月	スクールタクト活用研修会 (オンデマンド型研修)	「スクールタクト」を活用した指導の充実を図る	小・中教員
5・7 月	特別支援教育コーディネーター研修会 (1回目オンデマンド型研修)	特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援の在り方	特別支援教育コーディネーター
4～8 月	外国語指導力向上研修会	指導力・英語力の向上を図る	小教員 (各小学校で実施)
5 月	A I 型教材等導入及び利活用オンライン研修会	A I 型教材等の使用方法及び効果的な活用方法についての研修	小教員
7 月	人権教育管理職研修会	人権教育推進における管理職としての役割等について	小・中校長等
4・7・12 月	特別支援学級、通級指導教室担当者研修会	特別支援学級の特性を生かした指導の充実を図る	小・中特別支援学級等担当教員
7 月	人権教育現地研修会	様々な人権課題を学ぶフィールドワーク研修	採用10年未満の教職員等
8 月	外国語科実技研修会	指導力・英語力の向上を図る	小・中外国語科担当教員
8・1 月	幼・保・小連携合同研修会	幼・保・小の円滑な接続に係る研修	公立保教職員、私立幼・保教員、認定こども園教職員、幼保小連携担当教員、低学年担任等
8 月	生成 A I の利活用に関するオンライン研修会	生成 A I の効果的な活用方法等に関する研修	小・中教員
7月から9月	デジタル・シティズンシップ研修会 (オンデマンド型研修)	学校におけるデジタル・シティズンシップ教育の充実を図る	小・中教員
7月から9月	スクールタクト活用研修会 (オンデマンド型研修)	「スクールタクト」を活用した指導の充実を図る	小・中教員
10 月	コミュニティ・スクール研修会	学校運営協議会についての理解を深める	小・中管理職、教職員 学校運営協議会委員等
12 月	特別支援教育推進研修会	特別支援教育についての理解を深める	小・中教員
2・3 学期	ICT 端末を活用した授業研究会	学校 ICT 端末を活用した指導の充実を図る	小・中教員
年間 4 回	教育課程研究協議会	教育課程・学力向上・小中一貫教育に係る研修	小・中主幹教諭 または教務主任

実施時期	研修会名	研修内容	対象
年間 4 回	中学校シェイズンシップ教育研修会	総合的な学習の時間における指導方法の工夫・改善を図る。	中学校総合的な学習の時間主任等
年間 9 回	学校図書館支援員研修会	学校図書館支援員の専門性の向上を図る研修	学校図書館支援員

(2) 教育相談等に関する研修（教育センター所管の研修）

実施時期	研修会名	研修内容	対象・定員
5・6 月	就学相談調査専門員研修会	就学相談員としての心構え、資質を向上させるための講義等	上尾市就学相談調査専門員
7・8 月	生徒指導・教育相談 中級研修会（総セ・市町共催）	校内の生徒指導・教育相談の推進者として必要な理論や技法を習得するための演習	教員（初級修了者）
7 月	初任者研修（施設体験研修）	市内の文化財・史跡・公共施設・福祉施設等の見学及び体験等	初任者教員
7～11 月	5 年経験者研修	学級経営・教科指導についての実践的指導力の向上を目指すための講義及び社会貢献活動等	教員 （教職経験 5 年前後）
8 月	臨時的任用教員・任期付教員研修	教員としての資質向上を図るため、「教員としての心得」や教育課題についての講義	臨時的任用教員 任期付教員
8 月	児童生徒理解のための 知能検査講習会	知能検査の実施・解釈のための講義・演習	教員等
10 月	難聴に関する指導方法研修会	難聴の児童生徒の理解と指導のあり方	難聴・言語障害通級指導 教室担当教員
11 月	言語障害に関する指導方法 研修会	言語障害の児童生徒の理解と指導のあり方	難聴・言語障害通級指導 教室担当教員
年間 5 回	アッピースマイルサポーター研修会	アッピースマイルサポーターの資質向上を図るための講義及び演習	アッピースマイルサポーター
年間 5 回	特別支援学級補助員研修会	特別支援学級補助員の資質向上を図るための講義及び演習	特別支援学級補助員
年間 4 回	さわやか相談室相談員 研修会	相談員の資質向上を図るための協議	さわやか相談室相談員
年間 2 回	不登校対策コーディネーター及びさわやか相談室相談員合同研修会	児童生徒や保護者に対する教職員の対応力、児童生徒理解に関する力を向上させる講義及び演習	不登校対策コーディネーター さわやか相談室相談員
年間 5 回	サポートルームティーチャー研修会	サポートルームティーチャーの資質向上を図るための講義及び演習	サポートルームティーチャー

(3) 保健・安全衛生に関する研修

実施時期	研修会名	研修内容	対象
4 月	小学校給食調理員春季講習会	学校給食調理員の衛生管理及び学校給食施設、設備の衛生管理、物資事故報告	小学校給食業務従事職員、栄養士
4 月	市費栄養士研修会	栄養士としての職務を的確に遂行するために必要な知識の習得	市費栄養士
5 月	プール水質管理講習会	プールの水質維持のための薬剤の使用法	プール水質管理担当教諭
4 月から随時	心肺蘇生法研修	救急救命法の技術向上を図る	教員
6・10・2 月	保健主事研究協議会	健康教育の課題を研究協議する	保健主事
7・8 月	応急手当普及員講習会	救急救命法指導者の養成	教員
8 月	応急手当普及員更新講習会	応急手当普及員資格取得後3年を経過する教員向けの資格更新講習	教員
8 月	学校給食関係職員夏季講習会	学校給食調理員の衛生管理及び施設・設備の衛生管理	小学校給食業務従事職員、栄養士
3 月	伝達講習会	養護教諭の専門性を高める	養護教諭
各月1回	養護教諭研究協議会 (オンライン会議等)	健康教育の課題を研究し、資質向上を図る	養護教諭

(4) 各教科等授業研究会

実施時期	研修会名	研修内容	対象
9 月	いじめを考える 授業研究協議会	いじめを許さない気運を醸成させるための、いじめ問題の防止をねらいとした研究協議	小・中学生指導主任等
11,12 月	上尾市小・中学校外国語 教育授業研究会	授業研究会を通して、英語の指導力向上を図る	小・中学校教員

(5) 学校訪問

上尾市教育委員会では、市内各小・中学校に対し、教育指導行政上の諸問題の解決及び各教科等における指導方法の工夫・改善等を目指し、計画的に学校訪問を実施している。

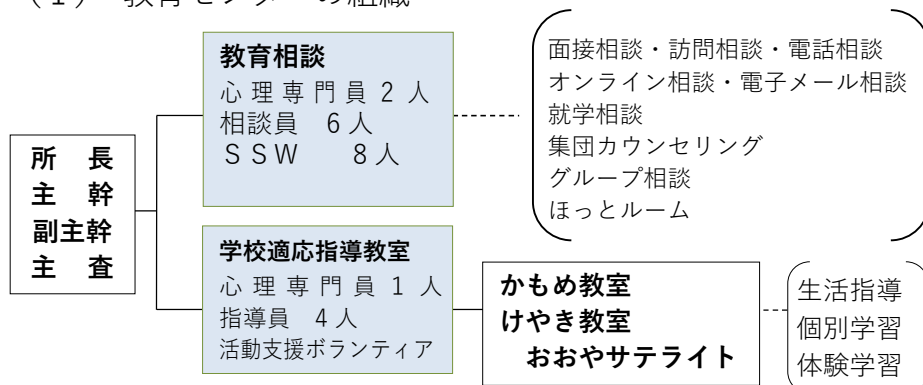
学校訪問では、教育課程の精査や授業参観をもとに、指導方法について、具体的な助言を行ったり、優れた指導方法や児童生徒との関わり方を共有したりするなどし、教職員の指導力向上を図っている。また、教職員の指導力向上に一層の充実を期するために、市内教員の中から教科等指導員を任命している。

4 教育相談の充実

本市の教育相談は、昭和 63 年に開所した上尾市教育センターを中心に、着実に実践を積み上げている。市民の教育相談に対するニーズは高く、相談業務には心理専門員・相談員、スクールソーシャルワーカー等の 16 人が対応している。

また、学校適応指導教室を平成 5 年度から開設、大谷小学校内に学校適応指導教室分室「おおやサテライト」を令和 6 年 5 月に新設し、不登校児童生徒の社会的自立と学校生活への適応を図っている。心理専門員 1 人・指導員 4 人が個別支援計画を作成し、児童生徒の登校支援を含めた社会的自立に向けた支援を行っている。さらに、不登校対策コーディネーター及びさわやか相談室相談員研修会等を定期的に開催し、各学校と連携して教育相談の充実を図っている。

(1) 教育センターの組織



(2) 教育センターの施設

相談室	4
プレイルーム	1
和室	1
事務室	1
学校適応指導教室	2
研修室	1
資料室	1
調理室	1

(3) 教育相談の内容

- 不登校についての相談（学校を休みがち、学校に行けない・行かない等）
- 学習・発達についての相談（学習が遅れている、ある教科がふるわない、発達状況に応じた対応について知りたい）
- 性格・行動・情緒についての相談（いじめられる、乱暴をする、落ちつきがない、ほとんどしゃべらない、友だちとよく遊べない、目ばたきが激しい・爪をかむ等気になるくせがある等）
- 言葉についての相談（ある音を正確に発音できない、幼児語・言葉のつかえ・聞こえ等言葉に関すること）
- 進路についての相談（就学・進学等についての問題）
- 養育・しつけ・その他についての相談
- ほっとルーム

開設日時：月～金曜日 10:00～17:00

活動内容：ゆるやかな小集団活動の場として、相談員が関わりながら自主学習と軽いスポーツ等を行う。

(4) 学校適応指導教室（かもめ・けやき教室）

上尾市教育センターには、通学すべき学校に登校できない、あるいは登校が難しい状態にある児童生徒の社会的自立を支援するための様々な指導・支援を行う学校適応指導教室「かもめ教室」（小学生対象）、「けやき教室」（中学生対象）を設置している。

通級予定日時に、学校適応指導教室で生活することにより、生活のリズムを安定させ、集団に適応していける生活態度を育てている。一人一人の社会的自立への思いと揺れ動く心を大切にしながら、きめ細かい指導を積み重ねている。

かもめ・けやき教室 ※ 活動内容及び時間は、状況に応じて変更有り

開設日時：月・火・木・金曜日 9:30～14:00

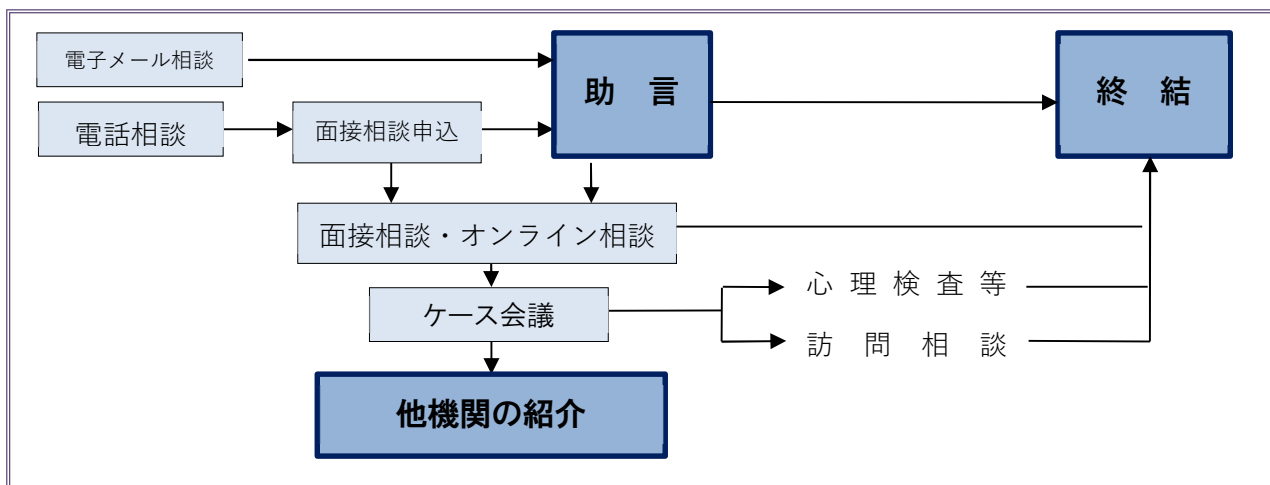
活動場所：上尾市教育センター、おおやサテライト（大谷小学校内）

活動内容・自主学習を中心とした学習活動

- ・体験活動（野外体験活動、宿泊体験活動、福祉体験活動、調理実習、創作活動、スポーツ体験活動等）
- ・児童生徒への個別カウンセリング
- ・家庭への支援・援助（個別相談、三者面談、保護者会、行事への参加等）
- ・学校との連携（在籍校の管理職及び担任面談、学校復帰のための受入れ体制づくり等）

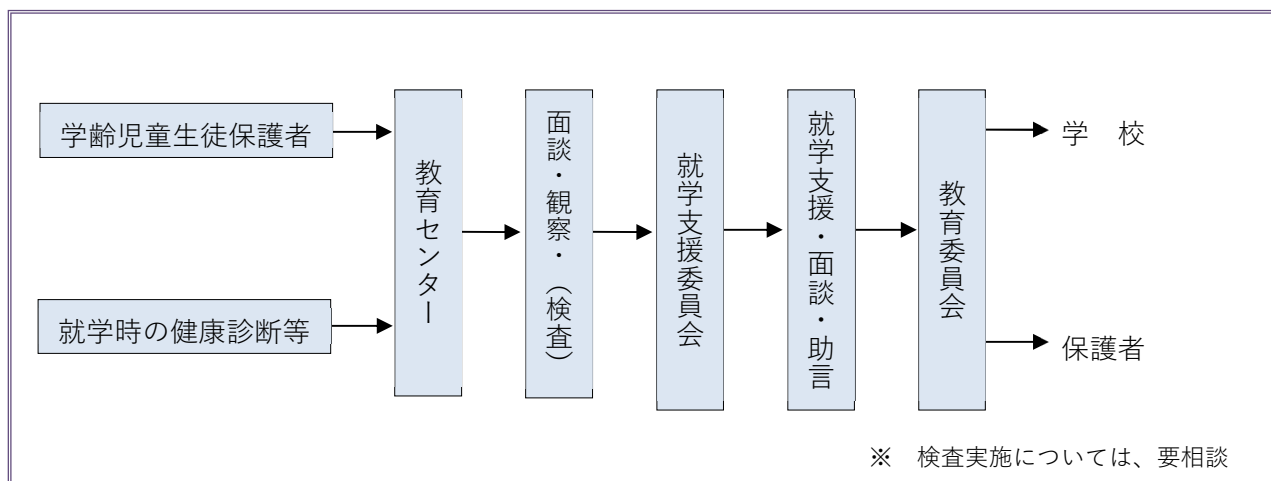
（５） 教育相談等の流れ

教育相談の流れ



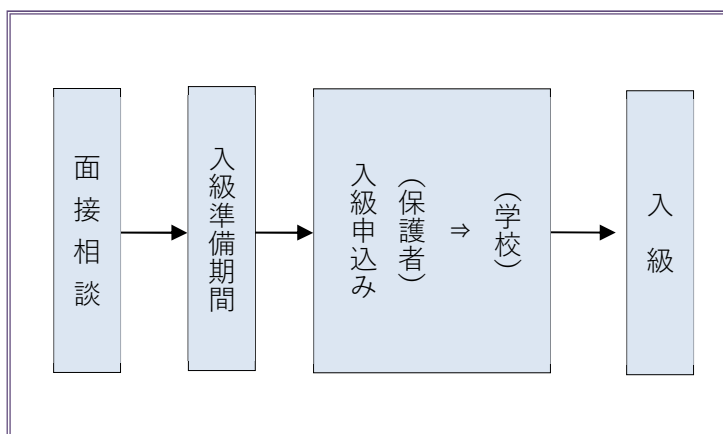
※ 検査のみの対応は行っていません。

就学相談の流れ



※ 検査実施については、要相談

学校適応指導教室入級の流れ



〔おおやサテライトの様子〕

